

海老名市立海西中学校 学校運営協議会 議事録
(令和7年度 第3回)

- 1 日時 令和8年2月4日(水) 13:45~15:15
- 2 場所 海老名市立海西中学校 校長室
- 3 出席委員 内藤奈美恵委員長、山本典男委員、鍵渡香代子委員、遠藤一義委員、清水匠委員、盛智史委員

4 会議の内容

- (1) 学校長挨拶
委員長挨拶

(2) 協議

(1) 令和8年度学校経営方針について

遠藤校長：学校教育目標は変更なし。目指す生徒の姿は、徳・知・体から語尾を全て生徒に統一した。重点目標は、これまで、「優しさ」について考える、「優しさ」に気づく、ときたので3年目は「優しさ」を表現するとした。

教育課程については、生徒の教育の効果を第一に検討、運用する中で職員の働き方改革も進めていきたい。今までは残業しない日を設定してきたが、令和7年度は、月に1度の定時退勤日を設定した。金曜日の6時間日課を5時間日課とし、諸活動も原則行わず、5時30分には退勤できるように設定し、通年行うことができたので、来年度も継続していきたい。

教科指導については、教科部会を同教科だけで行うのではなく、複数の教科で行い、評価方法などの研究の取り組みをしてきたので、来年度も継続していく。平和教育については、身近な安心、過去の事実などを学びながら、「何が必要か」、「何ができるか」を自ら考え実践していこうとする意識化、態度化を図っていきたい。

生徒指導と生徒支援は同じ項目であったが、来年度は別立てに変更し、生徒指導においては、「なにも起こっていないとき」こそ「なにも起こっていない」ことに目を向け、そこにある兆候をしっかりととらえる。と追記した。生徒支援では、「カウンセリングマインド」を肝に銘じ、小さな変化を見逃さず、生徒・保護者との信頼関係を構築し、未然防止・早期発見に努めるとする。

校内研究では、「人間関係づくり」と「主体的・対話的で深い学び」の2つ

を大きな柱として、引き続き「QU」の研究を続けていく。
説明を受け、令和8年度の学校経営方針に対して、内藤委員、山本委員、
鍵渡委員から賛同を得ることができた。

(2) 令和8年度以降の「学校運営協議会」の在り方について

遠藤校長：今後の学校運営協議会は、これまでのPTAは生徒が在籍している3年間と限定されてしまうので、PTAが担ってきたことを学校運営協議会でも行っていく。また、大前提としてコーディネーターがいるとして、学校で行ってきた職場体験学習や職業講話などの体験先や講師を学校運営協議会で紹介してもらうなど、地域の方々に学校に関わり、見守ってもらう。そして、学校運営協議会の中でそれぞれの部や担当があり、アップデートしていく組織になることが理想的である。

(3) 授業参観

○2学年総合的な学習の時間「職場体験学習」発表の見学

3クラス学級閉鎖のため中止